

# 花と迎える年末年始

保健学部 楠田美奈

華道家元 池坊 中央委員 木村尚未

## 【活動概要】

本活動は、社会貢献活動として、学生が相手に自分たちの考えをどのようにすれば伝えられるかの『コミュニケーションスキル』を磨くことと、学業以外での成功体験を積むことでのモチベーションアップを目的としている。

## 【活動紹介】

12月上旬から、アトレヴィ三鷹担当者の方とオンラインでの打ち合わせやメールで作品テーマの確認を実施した。「見て元気になるような、華やかな作品をお願いしたい」という希望を伺い、学生が作品デザインを描いた。「毎年のように青竹を使って、高さを生かした作品を作成したい」と学生からの希望があり、松田理事長先生はじめ、関係各所の皆様からご協力をいただき、今年も八王子キャンパスの青竹を使った作品となった。

12月24日に竹採取を八王子キャンパスで行い、27日が竹加工(色保持のため、油脂で竹全体をコーティングや作品サイズに合わせた切断作業)をし、28日には作品を搬入・展示をした(下図1,3)。1月4日までの展示期間中は、1日1回メンテナンスをし、12月31日には、花を入れ替え、お正月にふさわしい松・竹・梅を生け直した。

今回の作品は『高さ』を重視したため、展示の際には安全面への配慮が必要であった。そのため、竹を切るときには、できるだけまっすぐ切るように集中することや、竹の下には耐震ゲルマットを置くこと、作品の竹の節に小石を入れて重心が下になるようにして安定性を図るなど、様々な工夫を学生自ら考え実施していた。



図1 改札フロアの作業



図2 改札フロア作品



図3 展示フロアの作業



図4 展示フロア作品

## 【活動総括】

活動を通して、学生のコミュニケーションスキルやモチベーションの向上に寄与できたと考えられる。8名の参加学生で、例年通りの活動を継続できたことは、学生のチームワークが良い影響を及ぼしたと考えられる。そのチームワークも学生の成功体験に寄与する部分であると言える。

本活動は6年目を迎え、コロナ禍2年目も同様に実施できたことは、関係各所の皆様のご理解・ご協力によるものが大きい。この場を借りて御礼を申し上げます。